

国立大学法人島根大学役員会（第329回）＜議事要録＞

日時 平成30年9月4日（火） 14:00 ～ 16:20
場所 本部棟3階 特別会議室
出席者 服部学長，藤田理事，秋重理事，荒瀬理事，井川理事，吉田理事
欠席者 宮脇理事

〔陪席：千家監事，企画部長，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長，医学部事務部長，地域連携・研究協力課長，教育企画課長，総務課長，人事労務課長，財務課長，医学部総務課長，監査室長〕

議題1 イノベーション創出機構の設置及び国立大学法人島根大学管理学則の一部改正について

議題2 島根大学イノベーション創出機構及び島根大学先端素材共同研究所の設置に係る規則の制定について

- 学長から前回の役員会で議決した「島根県が申請をする「地方大学・地域産業創生交付金事業」への本学の参加について」は，10月の交付決定に向けて国において評価が行われているところであるが，仮に採択されなかった場合でも，本学としては事業規模を縮小する形で計画を実施するとの説明があった。また，どの程度の規模で実施するかについては，申請の採否が明らかになった後に審議するが，事業を実施するために必要な先端素材共同研究所と同研究所の位置づけとなるイノベーション創出機構は申請の採否に関わらず設置するとの説明があった。
- 秋重理事からイノベーション創出機構の設置について，及び島根大学イノベーション創出機構規則，島根大学イノベーション創出機構管理委員会規則，島根大学イノベーション創出機構先端素材共同研究所規則について説明があり，続いて藤田理事からイノベーション創出機構の設置に伴う国立大学法人島根大学管理学則の一部改正について説明があった。
- 千家監事から島根大学イノベーション創出機構先端素材共同研究所規則の第3条第1項第5号について，共同研究の範囲を限定してはどうかとの意見があり，文言を修正することとしたうえで，議決された。

議題3 看護師学校等の課程変更について

（助産師資格取得課程の学士課程から大学院修士課程への変更について）

- 荒瀬理事から平成32年4月より大学院医学系研究科看護学専攻博士前期課程に助産学コース（3名）を立ち上げ，助産師の資格取得課程を医学部看護学科の学士課程（助産師選択制6名）から大学院へ変更することについて説明があり，原案どおり議決された。

議題4 平成30年人事院勧告の対応について

- 藤田理事から平成30年人事院勧告の対応について説明があった。
- 学長から給与勧告の骨子にある初任給調整手当，宿日直手当，住居手当への対応について質問があり，吉田理事から初任給調整手当については，俸給表が改定されればあわせて改定することとなるとの回答があった。また，人事労務課長から宿日直手当については，本学は法人化時に労働基準監督署に管理当直として届出をしているため，今回の人事院勧告で対象となる業務当直は該当しないこととして対応する予定であるとの回答があった。続いて人事労務課長から住居手当については，今回の人事院勧告では今後必

要な検討をされるとされており、具体的な改定はなく、来年度に向けて勧告があるのではないかとの回答があった。

- 基本的には人事院勧告に準拠するが、宿日直手当については、本学は該当しないため、準拠しないという方針について、議決された。

議題5 就業規則の一部改正について

- 藤田理事から就業規則の一部改正について説明があり、原案どおり議決された。

議題6 「国立大学法人島根大学知的財産ポリシー」の改定及び「国立大学法人島根大学知的財産に関するガイドライン」の制定について

- 秋重理事から「国立大学法人島根大学知的財産ポリシー」の改定及び「国立大学法人島根大学知的財産に関するガイドライン」の制定について説明があった。
- 千家監事から「知的財産に関するガイドラインの4. 運用（1）本ガイドラインと関連する規則・ポリシーに列挙されている規程・規則等」と「ガイドライン本文」との整合性を確認するよう意見があり、整合性を確認することとしたうえで、原案どおり議決された。

議題7 「島根大学共同研究取扱規則」の一部改正について

- 秋重理事から「島根大学共同研究取扱規則」の一部改正について説明があり、原案どおり議決された。

議題8 国立大学法人島根大学法人文書管理規則の一部改正について

- 藤田理事から国立大学法人島根大学法人文書管理規則の一部改正について説明があった。
- 千家監事から次の3つの意見等があった。
 - ・ 法人文書管理マニュアルを作成する際は、意思決定に関する文書として事務担当者がどこまでの文書を作成するのか具体的に示す必要があるのではないか。
 - ・ 平成30年7月20日の「行政文書の管理の在り方等に関する閣僚会議決定」において、文書の電子化として用語検索可能なシステムの導入やペーパーレス化を加速するとされているため、用語検索可能な電子決裁システムの導入についてどう考えるのか。
 - ・ 文書処理規則について、法人文書管理規則と一部重複している部分があるため、文書処理規則を見直してはどうか。
- 学長から電子決裁システムについては多額の費用がかかることもあり、今後執行部で検討するとの回答があった。
- 藤田理事から法人文書管理マニュアルの作成については、法人文書と個人文書との線引き等を今後詰めていくとの回答があり、実効性のあるマニュアルを策定することとしたうえで、原案どおり議決された。

議題9 理事の学内業務について

- 学長から理事の学内業務について説明があり、原案どおり議決された。

議題10 第161回教育研究評議会の議題等について

- 学長から第161回教育研究評議会の議題等についての議題3件、報告事項10件に

ついて説明があり，原案どおり議決された。

議題 11 第 9 6 回経営協議会の議題等について

- 学長から第 9 6 回経営協議会の議題等についての議題等についての議題 5 件，報告事項 5 件について説明があり，原案どおり議決された。

協議事項 1 定期モニタリングの実施について

- 藤田理事から「ハラスメント防止体制」についての内部統制報告書の説明があった。
- 千家監事から e ラーニングの受講率向上については，昨年度も議論された内容であり，もう少し工夫をすべきではないかとの意見があり，藤田理事から e ラーニングは，新しい内容で今後改めて実施する予定であるとの回答があった。
- 千家監事からハラスメント対策室への室員配置についての時期について質問があり，藤田理事から 1 1 月までの室員配置を考えているが，一定の専門性が必要なので，どのような人が必要なかは検討中であるとの回答があった。
- 千家監事から昨年度の定期モニタリングの際に，今後の見直しの予定として教員の階層別研修においてもハラスメント防止に係る内容を盛り込むとされていたため，今年度の実施予定について確認があり，藤田理事から今年度は具体的事案に対応した研修を優先するため，階層別研修でのハラスメント防止に係る研修は予定していないとの回答があった。
- 藤田理事からハラスメントの申し立て事案で，教員と学生の関係において，指導上の不適切さが原因であるケースが増加している。このケースをハラスメントとして対応すると，学生の環境を改善するよう対処するが，重要なのは教員の指導能力や教育能力を高めることである。ハラスメントとしての対処では，この機会が十分に与えられないため，大学の教育のあり方として，研修の課題として教育力をあげるような取組みが必要ではないかとの意見があり，藤田理事と荒瀬理事で相談し，対処方法を検討することとなった。

報告事項 1 情報セキュリティインシデントに対する再発防止策について

- 秋重理事から情報セキュリティインシデントに対する再発防止策について報告があった。
- 学長から変更したパスワードポリシーに従ったパスワードとしているかどうかの確認方法について質問があり，秋重理事から情報セキュリティ講習（e ラーニング）2 においてアンケート調査を行うとの回答があった。

報告事項 2 情報セキュリティ講習（e ラーニング）の受講状況について

- 秋重理事から情報セキュリティ講習（e ラーニング）の受講状況について報告があった。

報告事項 3 平成 2 9 事業年度財務諸表の承認及び平成 2 9 事業年度財務状況分析資料について

- 吉田理事から平成 2 9 事業年度財務諸表の承認及び平成 2 9 事業年度財務状況分析資料について報告があった。

報告事項4 平成31年度概算要求の概要について

- 吉田理事から平成31年度概算要求の概要について報告があった。

報告事項5 平成30年度BCP訓練について

- 藤田理事から平成30年度BCP訓練について報告があった。

報告事項6 附属病院運営状況について

- 井川理事から平成30年7月分の附属病院診療費用請求額等、7月・8月に開催された病院経営企画戦略会議及び附属病院運営委員会の議事、附属病院の勤務状況報告について報告があった。

報告事項7 労働基準監督署からの是正勧告について

- 藤田理事から労働基準監督署からの是正勧告について報告があった。
- 千家監事から欠席の篠塚監事からの「深夜労働、休日労働は特定の部局に集中しているのか。」との意見の代読があり、藤田理事から今後調査をして実態を把握するとの回答があった。